

川西町国民健康保険

第二期保健事業実施計画（データヘルス計画）及び 第三期特定健康診査等実施計画～概要版～

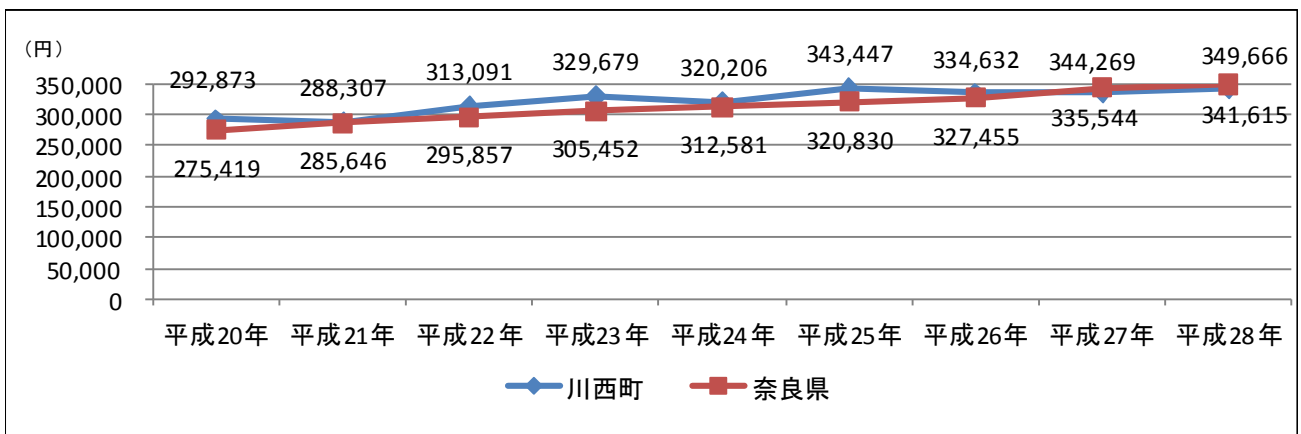
I. 計画策定の目的・背景・位置づけ等

川西町では、国民健康保険被保険者の健康保持増進と医療費の適正化を目的として、診療報酬明細書（レセプト）や健診データ等を分析・活用し、平成30～35年度の6カ年計画「第二期データヘルス計画」を策定しました。

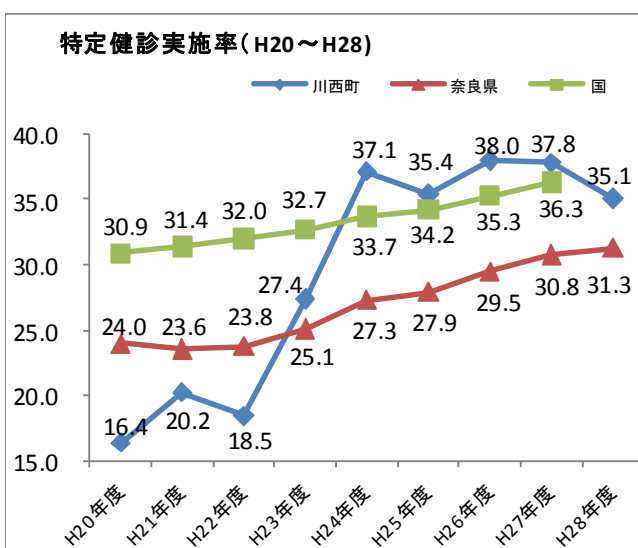
なお、「第三期特定健康診査等実施計画」については、保健事業の中核をなす特定健康診査及び特定保健指導の実施方法を定めるものであることから、双方の計画を一体的に策定し、保健事業を推進していきます。また、町内の各種計画との整合性と調和も図っています。

II. 国民健康保険被保険者1人当たりの医療費の推移

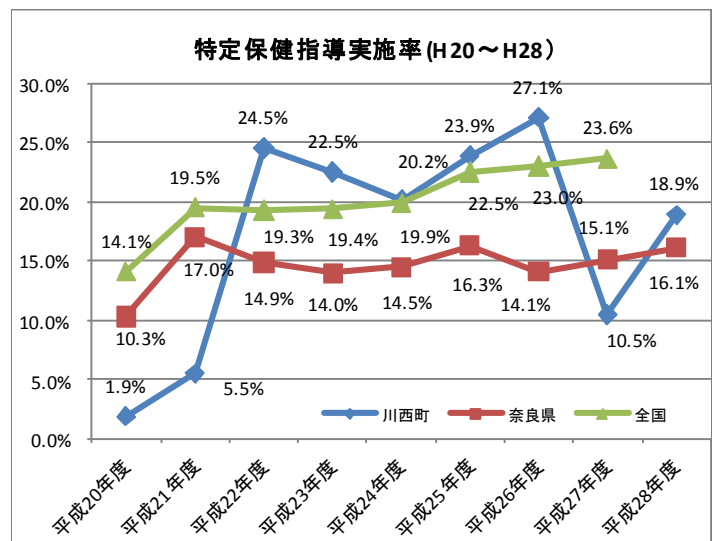
川西町の国民健康保険被保険者の1人当たりの医療費は、年々増加し、平成28年では341,615円となっています。



III. 特定健康診査・特定保健指導実施率の推移

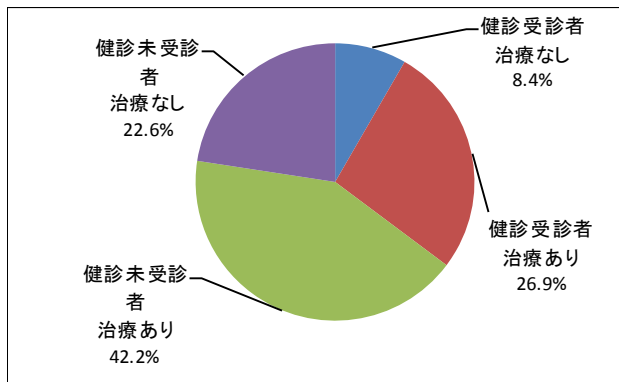


川西町の健診受診率は、37%前後を推移しています。平成35年度には60%を目標として、健診の受診勧奨をしていきます。



特定保健指導実施率は、ばらつきはあるものの約20%前後を推移しています。平成35年度には60%の実施率を目標とし、保健指導を実施していきます。

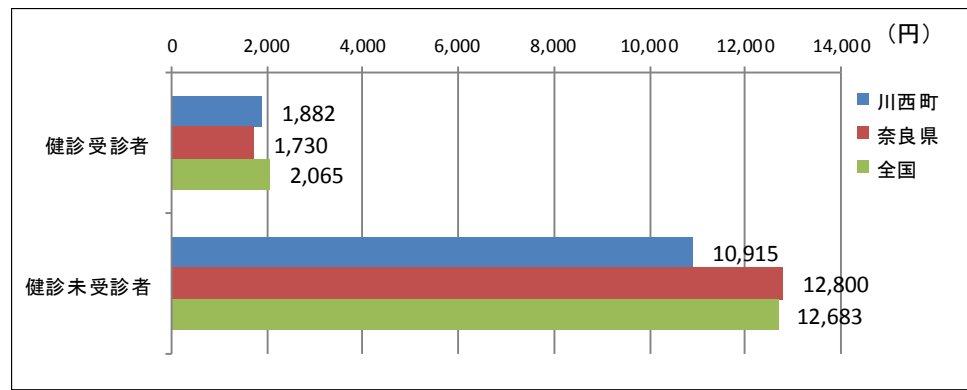
IV. 健診受診者・未受診者別の治療状況の割合



特定健康診査の受診率がなかなか上がらない理由として、医療機関で治療中だから受診しない方が42.2%、健診も医療機関も受診していない方が22.6%となっています。

健診の受診率を目標の60%にするためには、まずは健診も医療機関も受診していない方々にアプローチをし、少しでも多くの方が受診して頂けるよう勧奨していきます。

V. 特定健診受診の有無と生活習慣病等1人当たりの医療費(円/月)

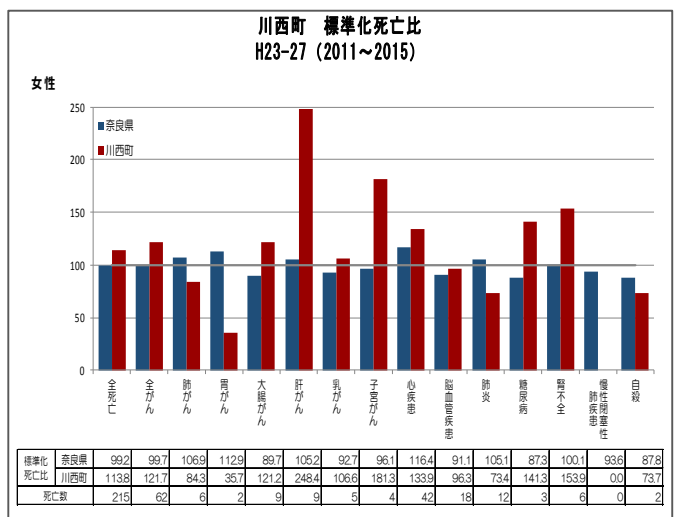
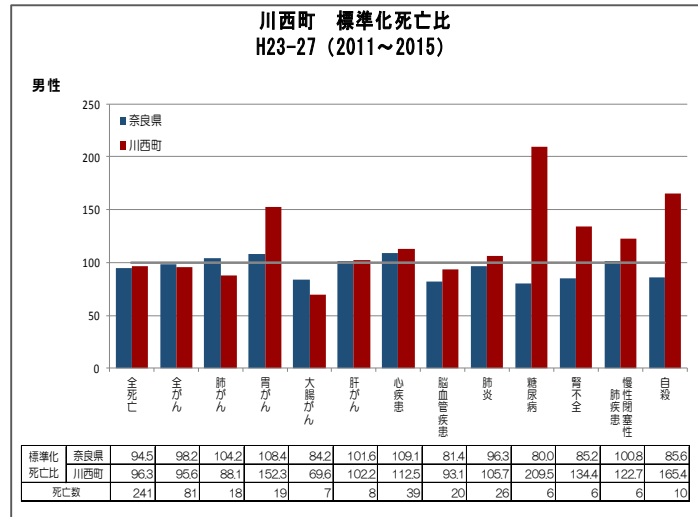


1ヶ月の医療費を健診受診の有無で比べてみると、健診を受けている者は1,882円、健診を受けていない者は10,915円と、5倍以上高いです。

将来的には、健診を受けているほうが医療費を安くすむ事が分かります。

健診を受けることで、疾病の早期発見、早期予防に努める事ができ、しいては、国保医療費の削減にもつながる事の周知徹底を図っていきます。

VI. 死亡の状況



死亡の状況を見ると、男性は、がんでは胃がん、生活習慣病では糖尿病・腎不全での死亡率が高く、女性は、がんでは肝がん・子宮がん、生活習慣病では腎不全・糖尿病での死亡率が高い状況にあります。

VII. めざすべき姿(目標設定)

1. 死亡率、医療費の高い糖尿病・腎不全への早期発見、早期予防への支援を行い、重症化を予防する。
2. 健診受診率の向上を目指し、疾病の早期発見、早期予防に努め、国保医療費の削減につなげる。
3. 日頃の生活習慣を見直し、改善できるよう各種健康教室や相談支援を図っていく。